
2. がちゃのおいたち



株式会社エム式水耕研究所(航空写真)

村井邦彦のおいたち

Kunihiko Murai (68 years old)

村井邦彦(68歳)

‘I became old at last’

「すっかり年とった」

Mr. Kunihiko Murai



Before - - - Now

‘It was fifty years ago.’

「あれは 50 年も前になる」

‘Our village was destroyed by Ise bay typhoon.’

「俺たちの村は伊勢湾台風で破壊されて
まつた」

‘But I was watching the grass floats on water.’

「俺は水に浮く草を見ていた。」



し

‘Oh ! It is the grass !’

「そうか、根か！」

‘It was the discovery of my own hydroponics.’

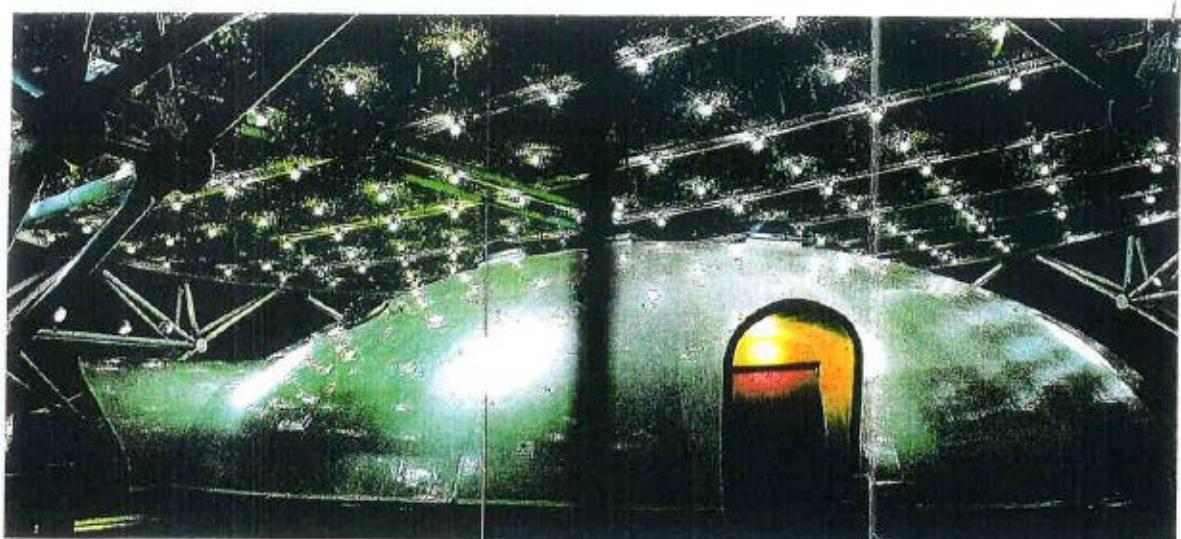
「それは水耕栽培の発見だった。」



Surrounding of Yatomi Station 弥富駅周辺



And then I founded my
own hydroponics
company.





エム式水耕のはじまり

ここで、実在の人物について紹介する。エム式水耕に名のごとく、エム(M)は村井のエムである。伊勢湾台風後、1971 年に株式会社エム式水耕研究所を設立し、現在は代表取締役会長として会社経営に、講演活動に、教育事業にいとまがないようです。

今日は、愛知県弥富市にある、そのエム式水耕研究所を訪ね、村井邦彦会長に、いろいろとお話を伺った。

ヤッピ一大石「村井会長、今日はよろしくお願ひ致します。」

M じい村井邦彦「なあーんでも答えたげるよ」

ヤッピ一大石「さっそくですが、水耕栽培のきっかけは何ですか？」

M じい村井邦彦「やはり根を発見したことじゃね(根)。台風の後、水に浮く草を見て、これはいいね(根)、と思ったんじやよ。それで水耕をひらめき、いっちょ、やっちゃろうかいね(根)、とひらめいた」

ヤッピ一大石「あたらしい農業ですね？」

M じい村井邦彦「もう農業という考えはなかったね(根)。初めから工業生産できないかと考えていたわけです」

ヤッピ一大石「工業と言いますと…？」

M じい村井邦彦「水に浮かした野菜を採って、そのまま別の場所に移動して、また水の上に浮かせて栽培する。土の場合は袋に入れ、場所を変えたければ、袋ごとそれを移動すればいい。ワシは初めから工業的かつ動産としての農業でありたいと思った次第じゃな」

ヤッピ一大石「農業でなく工業、不動産でなく動産っていうわけですか…？」

M じい村井邦彦「むろん、すぐそうなったわけじゃないが、その後、会社を設立し、いろいろと試行錯誤を繰り返した結果じゃけどな…」

ヤッピ一大石「で、具体的にその後、何を作られてきたのでしょうか？」

M じい村井邦彦「高度成長期だったなあー。沖縄海洋博のメインパビリオンのパーゴラ、つまり棚だよ。いっぱいヘチマを作ったなあ。空中菜園の始まりじゃよ。神戸博覧会や世界蘭展でのエアードームや壁面緑化など。実用面ではミツバの水耕栽培を日本で一番初めに行った。1,400 世帯以上、水耕プラントをつくったよ」

村井はいろいろな新しい構造を提案し、農業を工業として活用させるべく、多くの建造物を考案し、具体的にそれを実現させてきたようです。



PORPIA 81

神戸ポートアイランド博覧会 1981 年

Kobe Port Island Exposition at Kobe city in Japan 1981

網膜構造のエアードーム内を、水耕栽培により緑で埋め尽くした。

The green plants are covered all over the mesh structure of the air doom by the hydroponics technology.

現在、その村井の発案したテクノロジーは、カーボン有機土壌栽培、水循環水耕システム、農業ITシステムなど、多くの標準として運用されています。

The organic soil hydroponics, the water cycle hydroponics and the agriculture information technology which is discovered by me is used as standard technology

Belt conveyer hydroponics



Artificial light plant factory



The large-scale hydroponics plant farm

In Taiwan



The rice farm by the hydroponics

— ハーベスト リーフ サラダ メロン サンチラ (水稲) エンドウ —



Sky flower garden of begonia

ベゴニアの空中花園

Mitsuba or other vegetable plant by

the hydroponics.

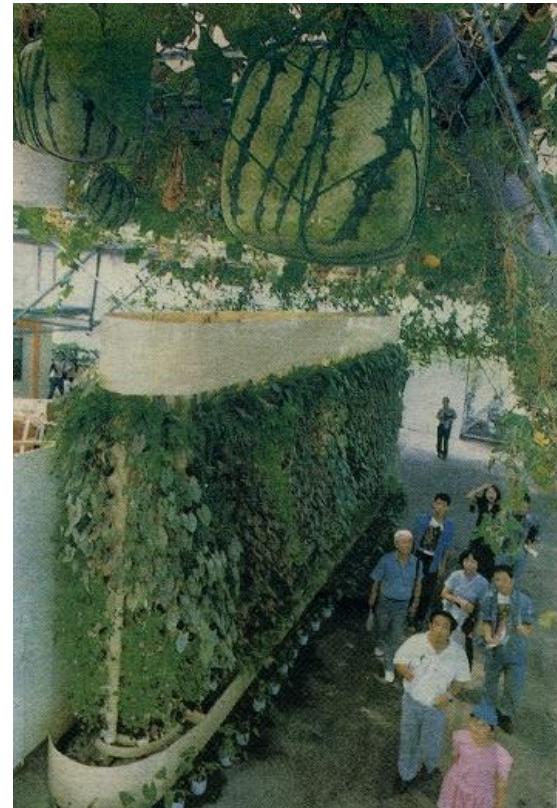


Water melon ceiling

スイカの天井

Melon ceiling

メロンの天井



日本の野菜

ミツバは日本の代表的な葉菜です。ミツバは露地栽培よりも、最近ではすっかり水耕栽培で栽培されることが多くなっています。



親子丼や、おすましの香りづけには欠かせませんが、味噌汁の実にしたり、天ぷらにしたりと、もつと本格的な料理に使うべき野菜と考えています。というのもミツバにはビタミン類が豊富に含まれ、ホウレン草に匹敵します。特にビタミンAが多く、ホウレン草と違い、細くてアクリが少ないため、ゆでる時間も短く、無農薬の水耕では水で洗う必要もないため、調理によるビタミン類の損傷は少ない便利な野菜と言えます。

最後に、村井邦彦が言っていたことです。

Mじい村井邦彦「ミツバは日本の野菜です。ワシはこれを全世界に広めることができます、ワシの最後の夢だと思っていますよ」

三つ葉とひじきの白和え



三つ葉パウンドケーキ



あとでレシピも

教えるよ！

三つ葉天むすび



三つ葉もち



がちゃのおいたち

がちゃはどこで、どうやって生まれたのでしょうか？

このがちゃは涙を流して、悲しそうな顔をしているけど、どうしたのかな？

人はもともと生物であり、生きていくという本能があります。辛いことを乗り越え、未来を開拓して行く、みんながその本能を持っています。

辛い災害や不幸を踏み台にして、がちゃはどのように未来に向かっていくのでしょうか？









